



あさかわ まちづくり ニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会
令和2年11月1日 第35号 委員長・山崎智功 編集・北條昭吾

冊子『ブランド薬師、十三仏+四仏をひもとく』が出版されました

浅川地区住民自治協議会ではブランド薬師の県宝を目指して活動してきましたが、念願の冊子『ブランド薬師、十三仏+四仏をひもとく』が千部発行され9月24日、編集・発行した浅川地区住民自治協議会に納入され配布がはじまりました。

冊子はB5サイズ、48ページのPP加工（水に濡れてもふき取れる）されたカラー印刷です。見開きのページに歌川広重の浮世絵「諸国名所百景 信州久須里山」を掲載「写真で見る十三仏巡り」「ブランド薬師（八擲神社）」の写真、相原文哉さん解説による「ブランド薬師（八擲神社）とは」「石造十三仏像と生まれ年（守護仏）」「役行者立像、秋葉三尺坊、馬頭観音像、少彦名神坐像」の四仏、「裏参道石像馬頭観音立像・座像」が写真と共に分かり易く説明されています。冊子制作は長野市ながのまちづくり活動支援補助金を受けました。

冊子の配布について浅川地区住民自治協議会にお問い合わせください。（TEL 244-5165）



「浅川産ハuckleベリー瓶詰めジャム」販売開始しました

浅川産ハuckleベリージャムの原料になるハuckleベリー2回目の収穫・へた取りは10月4日（日）「チームフロンティア・浅川」の会員など20名が参加して真光寺の浅川遊歩道沿いと畑で収穫して、へた取りを行いました。早速食品製造会社に持ち込み、ビン詰めジャムにされ、10月12日ラベルが貼られ販売がはじまりました。



ハuckleベリーのへた取り



今年のハuckleベリーの収穫量は71Kgで食品製造会社で浅川産の瓶詰めハuckleベリージャムとして309本が完成しました。

瓶詰め「浅川産ハuckleベリージャム」は1本260g、税込500円で販売します。

担当の池田茂さんによると、今年はハuckleベリーの栽培面積を増やしましたが、梅雨の長雨などで収穫量は昨年とほぼ同じ収穫量でした。

今年も浅川ダム展望広場で開催される「農林産物直売所」で販売されます。購入希望について浅川地区住民自治協議会までお問合せ下さい。TEL 244-5165

11月下旬～12月初旬、レーザードローンでブランド薬師調査

レーザードローンを飛ばしてブランド薬師（八擲神社）の調査をしようと測量会社「こうそく」は長野市に飛行計画を申請していました。9月30日付けで飛行許可が下り、11月下旬から12月初旬に調査飛行を行います。

この飛行はブランド薬師の調査を行っている信大工学部建築学科土本研究室と測量会社「こうそく」がタイアップして行うもので、空中からレーザーを照射して撮影、木のない薬山とブランド薬師などの解析を行うとしています。



ダム祭りで展示したレーザードローン

ちなみにレーザードローン本体はオーストリア製、架台は中国製、価格が5千万円。規定時間の5分前には自動的に離陸地点に戻るなど最新の機能を備えているとの事です。

建築関係の優秀な職人集団・信州名匠会 25 人が八榎神社で研修 相原氏「十三仏」・院生柳内氏「ブランド薬師」の講演は好評

信大工学部建築学科土本俊和教授を会長に建築設計士・建築関係の優秀な職人集団で構成される「信州名匠会」は、9月26日（土）ブランド薬師で今年度2回目の現地研修が行われ会員25人が参加しました。



信州名匠会顧問・相原文哉氏は十三仏の制作経過などを、昨年からはブランド薬師（八榎神社）の研究に取り組んでいる信大工学部大学院生・柳内斉彬（やぎうちなりあきら）氏、土本俊和教授からブランド薬師の総合的な研究の流れを、ブランド薬師の屋根工事をした二見屋・小宮山恒雄氏から工

事の様子など発表がありました。

信州名匠会は、職人同志の連携を深め情報を交換することにより優れた技術を生かし建築物の質向上、技術の伝承並びにすぐれた技術者の育成に取り組んでいこうと平成5年に発足。



参加者は発行されたばかりの冊子「ブランド薬師・十三仏をひもとく」を見ながら、相原文哉氏が江戸後期文久元年（1861）に十三仏がつくられた経過や言われを解説しました。



柳内斉彬氏からは、新たに発見された大正4年ブランド薬師の改修工事設計図等と比べ、現在のブランド薬師の図面を作成し比較研究した結果を発表しました。

土本教授からはブランド薬師は県宝を目指して取り組んでいるなど総合的な説明が行われました。

ブランド薬師建物内部では、石仏「少彦名神坐像」を前に薬師如来から変わった経緯が相原氏が解説。柳内氏からは建物が3本の柱の上に建っている懸け造りで特殊な構造でほかに類例がなく非常に価値があると説明しました



また建物前では二見屋小宮山恒雄氏から屋根工事について雨もり対策で銅版に一部張り替えた経過の説明がありました。

この研修は興味のある現地研修との事で参加者からは好評だったとの声を頂いています。地元からは、丸山義雄八榎神社責任総代、宮澤重徳八榎神社保存会会長、山崎智功浅川地区住自協まちづくり計画推進委員長、原田孝成活性化推進委員、など8名が参加しました。

詰めた議論に！第2次浅川地区まちづくり計画策定小委員会開催

第2次浅川地区まちづくり計画策定小委員会は9月30日（水）17人が出席し開催され、小委員会としての詰めの討議が行われました。



討議では「地域づくり環境部会」からは、浅川を明るくする運動実施ではイルミネーションについて要望がない、個々の地区で考える。簡易発電機について設置目的・設置主体・維持管理など検討すべきことが多い。浅川道の駅設置について、駐車場を含め一定の広さを有する適地があるか、現在坂中で定期的に野菜班場合を行っているので調整を図る必要がある。などで2次計画に盛り込まない。

NPO法人設立と事業の展開について、NPOは住自協主導して立ち上げるものでなく、事業活動をこれから立ち上げる人、たちあげた人がNPOを立ち上げたもので住自協は側面的に支援を行う立場で、産業振興分野に整理しました。

このほか各部会からからは「現状と課題」「重点施作」「事業施策」「計画年度」など個々に詰めた議論を行い、修正・追加・見直しなど詰めた意見が出されました。

今日の小委員会で出た意見を整理して、次回は第2次浅川地区まちづくり計画策定委員会に戻し11月6日（金）に開催します。